

令和5年7月20日(木)



# 四中だより

7月号

校長 佐藤 政彦

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu4/>

## 確かな足跡を残した1学期でした

校長 佐藤 政彦

生徒の皆さん、1学期は、学習やスポーツ、体育祭、定期考査、部活動、そして日々のあいさつなど、何事にも全力で取り組むことができました。“さわやかで熱い四中生”を多くの場面で見ることができ、大変うれしく思っています。明日からは、待ちに待った夏休みです。コロナでの制限も少なくなり、旅行や会食など出来ることが増えてきました。思い出に残る夏休みにしましょう。



そんな中、3年生の皆さんにとっては、勝負の夏となります。“夏を制する者は受験を制する”とも言われています。しっかりとした「志」、「目標」をもち、3学年スローガン「点滴穿石」(小さな努力を続ければ大きな成果となるという意味)のように努力を重ね、来年の春には、大きな夢を掴み取りましょう。時に、その過程では我慢も必要になってきます。ゲーム、スマホ、イベントなど、様々な誘惑と上手に付き合いながら、悔いが残らないようにしましょう。

1・2年生は、“本物にふれる夏休み”にしましょう。普段はあまり行くことがない美術館や博物館を巡ったり、自然観察や歴史探索をしたり、日常生活とは違う場所で色々なことにチャレンジし、実際に自分の目で見て、触れて、確かめて、新たな発見・体験をしましょう。



8月29日(火)、皆さんの元気で明るい笑顔に会えることを楽しみにしています。事故や事件に巻き込まれることがないように、健康・安全に留意し、有意義な夏にしましょう。

保護者の皆様、本日、無事1学期を終了することができました。保護者の皆様には数々の場面で、学校教育に対するご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。皆様の温かいお言葉に、私をはじめ教職員は何度も励まされてきました。夏休みは、ご家庭での時間が多くなりますが、ご心配なことなどありましたら、お気軽にご連絡ください。すてきな夏休みをお過ごしください。(8/10~17は学校閉庁日になります)

◆余談ですが・・・47年前、中3だった私は!◆

「勝負の夏」とはかけ離れた夏でした。10日間程度の夏期講習に行ったことで満足してしまい、ほとんど勉強はしませんでした。本格的な受験勉強を始めたのは、冬休みからで、そんな甘い考えだった私は、都立入試に失敗し、その結果、都立の二次募集で進路が決まりました。“後悔”しか残らない受験期でした。3年生には、同じ思いをしてほしくありません。後悔しないためにも、頑張るときはいつも・・・“夏”ですね。



## 体験活動を通した学び

### 1年生 『障がい者理解』について

7月8日(土)、車いすを使っている方、盲導犬と一緒に生活をしている方、手話を会話の手段としている方、ガイドヘルプのボランティアをしている方などを講師にお招きしました。手話でコミュニケーションをとる、目隠して実際に校舎内を歩いてみる。車いすに乗ったり、それを押したりしてみる。そうすることで初めて見えるもの、感じるものがあつたでしょう。



### 2年生 『職場体験』について

7月3日(月)～7日(金)のうち最大3日間。幼稚園や保育園、小学校などの教育関連の施設から、個人経営のお店やグループ企業の施設など多岐にわたる業種での体験となりました。

「お客様にもとても好評でした♡」「もっと働いてほしかったです。笑。」など、たくさんの温かいお言葉を頂きました。いつも支えてくれている人に改めて感謝ですね。



### 3年生 『浴衣の着付け体験』について

7月12日(水)、特定非営利活動法人きもの笑福(わふく)の理事長である鎌田様をはじめ5名を講師にお招きして浴衣の着付け体験を行いました。冒頭、「日本文化の素晴らしさを改めて知ってほしい、広めてほしい」とありました。薄れゆくもの、変化していくもの、それでも繋いでいくべきもの……。それぞれどんなことを思ったでしょうか。



予測困難なこれからの社会を生き抜くために、他者との共生が欠かせません。多文化理解にもつながりますが、まずは「知る事」です。体験的な学びを通して獲得した知識は、きっと今後も皆さんの財産になっていくことでしょう。とても素晴らしい体験学習でした。関わってくださった全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

32年前、中3だった副校長千葉は・・・岩手で生活していた丸坊主少年。32年前といえば・・・遠足で小岩井農場に出かけこと、修学旅行で東京に来たこと……。断片的にでも記憶に残っているものはどれもそんな体験的な学習ばかり㊦

### 『幸せのクローバー🍀見つけ“隊”』

・卒業生が3年生の進路学習の一環で駆けつけてくれました。

四中の先輩後輩のつながりが素晴らしい。

・勤務を終え帰宅途中、学校から少し離れたところで一人の生徒が私に気づき元気に挨拶してくれました。“さわやか”な四中生！

